

世界美術紀行（アルジェリア）

[難波 平人](#)

（一般社団法人 二紀会理事）

私は世界の特異的な集落を訪ねて、それを作品化することをライフワークとしている。現在84カ国を取材し製作しているが、100カ国の取材を目標にし、それぞれの国の集落の特質を描こうとしている。

今回の講演会はアルジェリアを取り上げ、写真や私のスケッチ、油絵作品などでその魅力を紹介した。アルジェリアを訪問したのは、学生時代、往年のフランス映画「望郷」を見て感動し、その舞台アルジェのカスバに魅了されたことと、サハラ砂漠のムザブの谷のガルダイヤの建築様式が巨匠コルビジエの想像力の源だったことを知って、ぜひにと思ったことである。

アルジェリアは BC8000年頃からサハラ砂漠のタッシリナジェールに完成度の高い岩面壁画を残している。BC8世紀にチュニジアのカルタゴの支配下に入り、BC1世紀頃、ローマの属領、6世紀にビザンツ帝国、7世紀にアラブに征服された。その後、スペイン、オスマン帝国、19世紀にはフランスに占領されるなど、幾多の民族の侵略を受け、1962年、ようやく独立し、現在に至っている。

総人口は 3542万人 (95%が地中海沿岸)、面積は 238万m² (日本の 6.3倍。アフリカ最大) で国土の 8割は砂漠、天然ガス埋蔵量は世界 4位である。



TSS文化大学で講演する著者

■ アルジェの旧市街カスバ (世界遺産)

アルジェは白いフランス風の建築が並ぶ美しい首都。人口 250万人、アルジェ国際空港は1977年完成、丹下健三設計で直線と円とが基調になっている。

一方、カスバは標高120mの丘の斜面に広がり、古くからアラブ人密集の旧市街だ。迷路の坂道や階段は外敵の侵入を防ぐため、独立戦争の際は隠れ家として戦いを支えた。北原ミレイの「カスバの女」や1930年代のフランス映画「望郷」の舞台である。



アルジェの港



第61回 二紀展 2007年 200号
「カスバ (アルジェリア)」 文部科学大臣賞受賞

■ サハラ砂漠のムザブの谷 (世界遺産)

ムザブの谷に11世紀頃、イラク南部を追われたムザブ族 (イスラムの清教徒) が質素、平等をかかげて7つのオアシス都市を造った。ガルダイアはその代表的な町である。

立方体の家々がモスクの塔の周囲に同一円周上に密集し、建材もデザインも統一。斜めの壁と控えめな曲線、白壁に小さな窓。こうした街をフランスの建築家ル・コルビジエは著書「輝く都市」1935年で、「デザインに困ったらガルダイアに行け」と絶賛し、有名になった。



ガルダイアの街



ガルダイアの家



ムザブ族衣裳のキャメルさん親子

■ コンスタンティヌ

アルジェから東へ300km、人口 79万人、学園都市。カルタゴ時代から町が作られ、2世紀にはアフリカでも有数の大都市であった。4世紀、コンスタンティヌス帝の時代に隆盛を極め、皇帝の名前が町の名前になった。フランス植民地時代に直轄地としてヨーロッパ風に整備される。作家アレキサンドル・デュマは、「絶壁の頂上に乗った鷹の巣」と言った。



コンスタンティヌ旧市街

■ ティパサ (世界遺産)

地中海を望む地にローマ人が築いた都市、6世紀に破壊された。キリスト教聖地には内部の浮彫などが遺されている。

アルジェリア出身のフランス人でノーベル文学賞作家のアルベール・カミュの小説「異邦人」の着想の地である。



ティパサの遺跡

■ ジェミラ遺跡 (世界遺産)

ローマ時代、ベルベル人の反乱を制圧するため建設。ビザンチン教会、劇場、浴場など。
AD216年カラカラ帝の凱旋門建設。パリの凱旋門のモデルとなった。
7世紀、アラブ人が「ジェミラ」(美しい)と名付けた。



ジェミラ遺跡

■ マウレタニア王家の墓 (世界遺産)

クレオパトラとアントニウスの娘で、ヌミディア王ジュバン2世の妻クレオパトラセレーネの墓といわれる。
土を盛り上げたような素朴な形が美しい。



マウレタニア王家の墓

■ タッシリナジェール (世界遺産)

アルジェから南に2000kmに位置する。サハラ砂漠南部の荒涼とした山地にBC8000年頃から紀元前後までに描かれた約2万点の岩面画と岩面彫刻が20世紀初頭に発見された。この地の緑の大地から現在の砂漠化するまでの歴史と人類が生きてきた足跡を証明している。

タッシリは「水流の多い大地」を意味する。



タッシリナジェールの岩面画

(本稿は 2014 年2月 18 日に行われた TSS 文化大学における講演の概要です。)